



2026年3月26日

各 位

会社名 株式会社日本マイクロニクス  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 正義  
(コード番号6871東証プライム市場)  
問合せ先 取締役上席執行役員管理本部副本部長 片山 ゆき  
(TEL. 0422-21-2665)

### 生産能力増強のための設備投資に関するお知らせ

当社は、先端メモリ半導体向けに需要が急増しているプローブカードの生産能力を増強するため、本日開催の取締役会において、下記のとおり追加の設備投資を実施することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 設備投資の理由

当社は、メモリ半導体需要の高まりを受け、生産能力の増強を目的として、2024年12月に青森工場に新棟を建設し、設備投資を継続してまいりました。

追加の設備投資については、マーケットの動向を見据えながら適宜増強を図る方針としておりましたが、その前提となる市場環境においては、近年、生成AIの普及を背景にAIデータセンター向け投資が拡大しています。これに伴い、先端メモリ半導体（HBM等）の需要が拡大しており、当社のメモリ向けプローブカードについても、急速な需要増加が見込まれております。

こうした需要に対応するため、当社は、生産能力の一層の増強を目的として、青森工場新棟への集中的な設備投資を実施するとともに、青森工場及び青森松崎工場の生産エリアの改修を決定いたしました。

これらの生産能力増強により、メモリ向けプローブカード分野における当社のプレゼンスを一段と強化し、拡大する顧客需要に的確にお応えできる体制を構築してまいります。

#### 2. 設備投資の概要

目的	メモリ向けプローブカードの生産能力増強
内容	機械装置及び建物附属設備等
投資時期	2027年から2028年（2年間）
投資総額	241億円
場所	青森工場（青森県平川市町居南田571-2） （青森県平川市新館野木和14-1） 青森松崎工場（青森県平川市松崎西田41-1）
資金計画	自己資金及び借入金等

#### 3. 今後の見通し

本設備投資が2026年12月期の連結業績に与える影響はありません。今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

以 上